

百里飛行場の愛称を

「茨城空港」に決定!

平成21年度開港を目標として整備が進められている百里飛行場の愛称が、「茨城空港」に決まりました。

小美玉市にある航空自衛隊百里飛行場を民間航空機も就航できる空港とするため、国が民間共用化事業を進めています。この飛行場の愛称が決定しました。

茨城空港が開港すると、全国主要都市への移動時間が大幅に短縮されるだけでなく、人、物、情報の交流が飛躍的に拡大し、地域の活性化に大きくつながります。

愛称決定に先立ち、茨城県では広く一般から募集を行いました。全国各地から8,266点もの応募があり、その中から、本県の空港であることが誰にでも分かる、簡潔で分かりやすいなどを理由に決定しました。

愛称は、パンフレットなどに使用されるほか、今後建設されるターミナルビルや道路案内標識、航空ダイヤ(時刻表)や就航先のボードなどに広く利用されていきます。

茨城県では、空港が便利で使いやすい空港となるよう、道路や駐車場の整備、連絡バスなどの導入を進めていきますので、茨城空港にどうぞご期待ください。

問い合わせ先

県事業推進課空港対策室

029130112761

HP <http://www.pref.ibaraki.jp/ibukyoku/kuko>

在日米軍機訓練移転

東京防衛施設局と協定締結

在日米軍の再編に伴う航空自衛隊百里基地への米軍機訓練移転について、1月17日、茨城県知事立会いのもと、行方市、小美玉市、鉾田市の3市と東京防衛施設局との間で、騒音対策安全対策 地域振興策等 移転される米軍機の訓練形式等(共同訓練の態様)を柱とする協定を締結いたしました。また、この協定に基づいた地域振興策等について、3市は地域の実情に合わせた要望書を個別に提出しています。市としては、地域振興策等が確実に履行されるよう、今後も関係部局との調整に努めていきます。



協定の締結を終えて握手する徳地局長、島田市長、橋本知事、鬼沢市長、坂本市長(左から)

◎協定の概要

- 1 騒音対策
 - ・訓練の移転に伴う騒音について、地元の要望を踏まえ、周辺住民の生活への影響に配慮し、騒音の実態調査を実施するなど所要の措置を積極的に講ずる。
- 2 安全対策
 - ・共同訓練期間中における事件及び事故に適切に対処するため、関係機関との間で所要の連絡体制を整備するとともに、安全対策等に努めることとする。
- 3 地域振興策等
 - ・地元の要望に配慮し、閣議決定を踏まえ、所要の措置を講ずるよう最大限努力する。
- 4 移転される米軍機の訓練形式等 共同訓練の態様
 - ・共同訓練の期間は、訓練1回当たり約3日ないし15日まで、年4週間以内を維持する。
 - ・訓練計画について、事前に地元自治体へ通知する。